

# DPC 情報と電子カルテ情報を用いた脳卒中登録システム整備に関する研究

## 1. 研究の対象

岩手県内に在住し、倫理委員会承認日から 2021 年 12 月 31 日までに脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、および、その他脳血管障害に罹患し、脳卒中専門医が常勤している岩手県内の地域中核病院を受診した方

対象病院

岩手県立二戸病院、岩手県立宮古病院、岩手県立釜石病院、岩手県立大船渡病院  
岩手県立胆沢病院、岩手県立中央病院、岩手県立中部病院、岩手県立久慈病院  
岩手県立磐井病院、盛岡赤十字病院、岩手医科大学附属病院

## 2. 研究期間

倫理委員会承認時～2022 年 3 月 31 日の間

## 3. 研究目的・方法

(研究目的)

電子カルテ情報と診断群分類包括評価 (DPC) 情報から自動的に情報を収集して脳卒中登録票を作成し、作成された登録票を主治医または調査員による確認後に岩手県地域脳卒中に登録する半自動化の脳卒中登録票作成支援システムを構築し、医療機関での脳卒中登録票作成作業の省力化と登録漏れ予防を実現し、さらに、調査員やリサーチナースによる悉皆調査作業を軽減させながら、悉皆性の高い岩手県地域脳卒中登録を維持するシステム構築を目的とします。

(研究方法)

DPC 情報と電子カルテ情報を組み合わせ、高い感度と高い特異度で脳卒中登録対象者を抽出するアルゴリズムを用いて、登録対象者自動抽出と登録項目を自動収集し、脳卒中登録票を自動作成するシステムを構築し同院の電子カルテシステム内に導入し、主治医による脳卒中登録票作成作業の支援と登録漏れの予防の達成をめざします。本研究で作成された脳卒中登録票は岩手県地域脳卒中発症登録に登録および保管されます。

(研究結果の公表)

本研究の結果は学会および岩手県地域脳卒中登録運営委員会に公表されます。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

これまで主治医が手書きで作成していた脳卒中登録票にかわり、電子カルテ内のシステムで脳卒中登録に必要な下記の情報を用いて脳卒中登録票の作成支援を行います。

氏名、性別、生年月日、居住地の市町村名

初診日、入院日、退院日、診断病名、発症日、既往歴、検査と手術の有無、転帰

本研究で作成支援された脳卒中登録票は、これまで主治医の手書きの登録票と同様に研究対象病院から脳卒中登録運営委員会に提出されます。本研究は脳卒中登録票作成支援システム構築を目的とする研究のため、研究対象病院より脳卒中登録票に記載されている情報の取得や蓄積は一切行ないません。

#### 5. 研究費および利益相反

(研究に対する利益相反の有無の開示)

研究費は日本学術振興会科学研究費補助金を用いて行われます。脳卒中登録票作成支援システムの構築と導入は電子カルテシステム会社との業務委託契約の範囲内で行います。

(研究者など個人に対する利益相反の有無の開示)

本研究者は電子カルテシステム会社など、本研究に関わる企業等から個人的及び大学組織的な利益は得ておらず開示すべき利益相反はありません。

#### 6. お問い合わせ先

自分の情報利用を希望されない場合、また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。情報利用を拒否されても不利益を被ることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先：

研究責任者：岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター 大間々真一

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

TEL：019-651-5111（内線 6208）

-----以上